



「全国の受験生へのエール」交換その1

神奈川県のある学校の校長先生の呼びかけにより、全国の受験生へのエール交換が行われています。そのなかのいくつかを進路だよりで今号と次号にわたって紹介します。これからセンター試験を迎える3年生はもちろんですが、1・2年生にとっても志を高め、今後へ向け前進する力になると思います。

「耕不尽」

この言葉は、前任校の校長先生がセンター試験激励会で話された言葉です。「耕不尽」(耕せども尽きず)とは、田畑は、毎年耕作して収穫をあげても、決してなくなることはない。そのように、人間の心田もまた耕せども尽きることはなく、耕せば耕すほど豊かな実りをもたらす、という意味で、学問・芸道では、真理の世界はどこまで探究しても尽きることがない、と解釈するそうです。

この後、センター試験、私大試験、国公立大学個別試験など続き、心が折れかけることもあるかもしれませんが、「なぜ大学を受験するのか」ということをもう一度よく考え、目的・目標を見失わないようにすれば、最後まで頑張り続けられると思います。皆さんの健闘を応援しております。頑張ってください。

初めての大学受験に不安はつきものですが、安心してください。これまで身につけた力を発揮すればいいのです。後は、その力をいかに出し切れるかです。私は、3つのことが大切と考えています。

- ① 感謝 保護者・友人など皆さんの周りの人に対してです。
- ② 素直さ 問題をよく読むことで、正解に確実に近づきます。
- ③ 謙虚さ 問題の中にはどうしようもないものもあります。

厳しい受験を経験することで人間力は更に向上していきます。
受験生の皆さんの将来の活躍を楽しみにしています。

「努力する人」よりも強いのは・・・

“受験生の皆さん。いよいよ本番が近付いてきました。準備万端！でしょう、か。

受験勉強は「苦しいもの?」「楽しいもの?」

以前、福永祐一騎手が努力について語っていました。

「努力する人は、努力しない人には負けない。でも、もっとも強いのは、努力を〇〇〇〇でいる人である。」

「〇〇〇〇」にあてはまる言葉は?

部活動を例に挙げてみましょう。部活動でも、必死に努力するでしょう。それは、なぜ?

試合に勝てるから?・・・確かにそれも一つ。でも、何よりも、自分の技術が上がるから。自分の成長を感じるから。それを感じるのが楽しい。

入試に向けて学んでいく中で、自分の知らなかったこと、今まで分からなかったこと、それらが少しずつ明らかになり、自分の智慧の一つとして蓄えられていく実感、心の世界が広がっていく実感、自らが成長していく実感。昨日まで見えていたものが、今日から違って見える瞬間。そこが面白い。まさに、学んで、おもしろい!!

福永祐一騎手は言います。

「最も強いのは、努力を楽しんでいる人である。」

あと少し。受験勉強を、受験を楽しみましょう。

皆さんのご検討を心からお祈りいたします。

未来に想いを馳せる講演会(講師:山元賢治さん)の感想文紹介その4

今回の講演会は興味がわく話で少しも眠くならず集中して聴くことができました。今まで私は人のせいにしたり、消極的になって自分の意見が言えなかつたりしたこともありました。しかし、これからは主語を“私”にし、他人の悪口を言ったり、恨んだりする無駄な時間をなくし、主体的に行動するように心掛けたいです。また、英語をもっと学び、外国の人と触れ合ったり、日本を違う角度から見てみたいと思いました。人のまねでなく、自分らしさを大切にしたいと想いました。これからも勉強頑張ります。笑顔を忘れずに、そして一番目指します。(3年女子)

今回の講演会は私が今まで聞いてきた講演会の中で最も刺激的なものになりました。山元さんが話してくださったことの中で特に私の心に残った言葉は「Iを主語にして発言する」という言葉です。私も日本人の特徴である「公の場で発言をあまりしない」というのにあてはまって、授業で発表するとき手を挙げません。ですから、「I」を主語にして自主性を高めていきたいと思います。また、「一日一時間は集中する時間をつくる」というのも実践してみたいと思います。この手紙だけでは10%しか伝えることができないかもしれませんが、本当に聴いて良かったです。ありがとうございました。(3年男子)

今回は本当にありがとうございました。山元さんのおかげで、もっと物事が気楽に前向きに考えられそうです。最初から全部を変えていくのは難しいかもしれないけど、少しずつ一步一步今の自分を変えて、他人に胸をはって生きていけるような人間になろうと思います。自分も将来 iPhone 関係、アプリゲーム関係の仕事をしたと思っているので山元さんの講演を聴けて良かったです。また、山元さんの講演を聞けるのを楽しみにしています！そして、いつかお話しできるといいなあと思っています！(2年男子)

今日の講演を終え、自分で考え、自分で物事を決めるということが大切だと思いました。私は、日常生活の中で物事を決断することが苦手です。ですが、山元さんの話を聞き、これからは、自分でしっかりと決断できる強い心を持ちたいです。私には、今将来就きたい職業があります。その夢を叶えるために今出来ることは勉強です。山元さんが、「日本人の人生は一生勉強だ」と言っていました。今の勉強も大変ですが、将来はもっと難しい勉強になると思い、一生懸命勉強したいです。そして、自分の最もやりたいことをやっていきたいです。今日は、ありがとうございました。(2年女子)



今日は、ありがとうございました。(2年女子)



「全国の受験生へのエール」交換その2

『百里を行く者は九十を半ばとす』（劉向「戦国策」秦策より）

「里」とは距離の単位で1里が約400メートル(諸説あります)ですから、百里は約40キロメートルの距離を指します。「百里を行こうとする者は九十里に差し掛かったところで後半分残っていると考えなさい」という訳から転じて「事を為すのに、最後に近づいたとて、気を緩めてはならない」という意味で使われる言葉です。受験生の皆さん方は「受験生」と呼ばれる1年のこの時期に気を緩める人はいないと思います。むしろ、焦っている人の方が多いのではないのでしょうか？

ではそうした焦りのある受験生の皆さん。上のことわざの意味を「受験本番が近づいたようで、実はまだ半分残っている、チャンスだ！」と読み替えてみてはどうでしょうか？この直前の時期でも志望校合格のチャンスが広がったように感じませんか？

ちなみに百里＝約40キロメートルという距離から連想されるスポーツがありますね。このスポーツ、残り10キロでの駆け引きが勝負の分かれ目になることが多々あります。勝負はこれからです!!家族・友人・先生…。周囲の人の支えに感謝しながら全力で本番に臨んでください。

試験当日まで、「合格したい」と力むのではなく、「合格に値する人になる」ことを心がけましょう。「どうすれば合格できるのか」と悩むのではなく、「どのように行動すれば合格に値する人になれるのか」を考えて、毎日をご過ごしませう。合格するにふさわしい学習の量と質、合格するにふさわしい規則正しい生活習慣、合格するにふさわしい謙虚で真摯な言動を、心がけて毎日をご過ごしていれば合格に近づきます。大切なのは「合格に値する人になる」ことです。

そして、試験当日は、試験会場に自分がいることに幸せを感じてください。その日まで、受験勉強をやりきって辿り着いた自分を誇りに思ってください。その日まで、支えてくれた先生や家族・支え合った友達顔を思い浮かべ感謝の気持ちをもってください。試験当日の試験会場は、一世一代の晴れ舞台です。最高の舞台に立てることを幸せに思い、胸を張って「やりきって」ください。応援しています！

「自分以外は皆が師である」

私ごときの人生訓ではありますが、受験生の皆さんにも充分にあてはまるものと考え、ここに贈らせていただきます。

謙虚な姿勢で常に学び続ける姿勢を持つ、人生を豊かにする心がけだと思います。成功からも、失敗からも、学び続けてください。

あともう一つ、私の好きな言葉も贈らせてください。

「勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし」

これは元プロ野球監督の野村克也さんの名言です。毎年受験生を見送る私には、この言葉の意味が痛いほどわかります。後悔するあなたなど見たくない、納得できる勝負を挑みましょう。

「大丈夫!!命まで取られるわけじゃない!!」

大変な局面に出会ったとき、私はいつもこう心の中でつぶやきます。

どんな受験生も今まで体験したことのないような緊張と不安の中にいるのだと思います。

「大丈夫!!命まで取られるわけじゃない!!」生きていればどんな挽回だって可能です。まずは第一関門のセンター試験。精一杯闘ってみてください。

未来に想いを馳せる講演会(講師:山元賢治さん)の感想文紹介その5(最終回)

私は今回の「未来に想いを馳せる講演会」を聴いてとても良い経験ができたなと思いました。私自身前から二列目で聞いており、山元さんはとても目力があり一つ一つの言葉に説得力があり、やはり世界で活躍する人は違うなと感じました。山元さんの話のなかで私が一番印象に残った言葉は「猛烈な好奇心をもつ」というものです。学校生活を過ごすにしても仕事をするにしても猛烈な好奇心をもてばやっていけると聞き、私自身も



日々生活している中で何か好奇心をもち過ぎそうと思います。高校生の内に山元さんの話を聞いたことはとても良かったと思います。「私が」を大切に日々過ごしていきます。(3年男子)

今回『「これからの世界」で働く君たちへ』というテーマで山元賢治さんがわざわざ東京から鹿児島に来て話をしてくださいました。私は、この講演会で強く思ったことが2つあります。1つ目は、「世界のことを何も知らない」ということです。例えば、私は東南アジアのイメージと聞かれると、生活水準が低く、発展していない国と思ってしまいます。しかし、実際はIT企業やロボット会社などの最先端技術を持つ会社の社長になっている人もいます。そのことにとても驚きました。2つ目は、「成功した人は、ただ成功するまで続けた人」という言葉です。ビルゲイツやエジソン、板垣退助など、成功した人は何か自分とは違うと考えていたが、この言葉を聞いて、諦めることを諦めれば成功になるのだと思った。(1年男子)

今回の講演を聴いて、私たちの未来は輝いているなと思った。約30年で進化したテレビや電話などには改めて感心した。私が一番印象に残ったことは「Face To Faceで話す」だ。文字のやりとりが増え、顔を合わせて話をする機会が減ってきている今、いざ話をしなければならぬ時の表情作りや、敬語の使い方など、話をするのが苦手な若者が増えているのではないかと思った。私は、これから学校生活をおくる中で「考えることをやめない」ということを意識していきたい。自分の心を開き、自分と向き合い、何事にも恐れず行動していきたい。今日は本当に貴重な時間だった。(1年女子)

以前から有名な方が来られると聞いていたので、とても楽しみにしていたが、想像以上に良い話が聞けてとても貴重な体験になった。講演会中や映像内でも出てきていた「自分で考え、自分で決定する」というフレーズがとても印象に残った。自分のたった一度きりの人生で自分で決定していくということの大切さを改めて確認が出来た。さらに人生において大切な108個のことも一つ一つ「確かにそうだな」と納得できる内容ばかりだった。その中でも特に「同期で一番を目指す」という一節が心に残った。比較されているからこそ、お互いを刺激し合ってライバルとして成長していくことは自分にとってすごく大切に、実際にそうやっていけたら良いなと感じた。全体を通して大切なことを多く学べたので、とても貴重な体験になった。(1年男子)